



### ファイターズとともに、北海道の水をきれいに。

ホクレンと北海道日本ハムファイターズは、北海道の「美しい自然」と「キレイな水」を守る環境活動として、共同でプロジェクトを立ち上げました。それが、2009年から推進している「キープグリーンウォーターエレクトロジェクト」です。水質汚染の原因となる米のとぎ汁を家庭や精米工場からも出さない環境に配慮したお米「頑張りファイターズ」無洗米ななつぼし「ほしのゆめ」を発売し、売上金から積み立てられた活動費(売上1kg当たり1円)で、北海道内の河川や海の清掃に取り組んでいます。これまでも順次、北海道内各地で継続している川の清掃を行い、今後も順次、北海道内各地で継続していく予定です。



### 「スポーツ応援米」で未来のスポーツ選手を応援。

現在、北海道の子供たちの体力や運動能力が低下していることが問題になっています。運動能力向上を支援するため、ホクレンでは「スポーツ応援米」の販売を始めました。「ななつぼし」6割と「ゆめぴりか」4割をブレンドしたお米で、スポーツ振興のために売上1kg当たり1円を(公財)北海道体育協会に寄付。本協会が主催する「きたえーるチャレンジクラブ」では、小学校1～3年生がいろいろなスポーツを体験できる機会を提供しています。



### 日本の良き伝統を、豆と一緒に守っていきます。

豆はお彼岸や節分など日本の伝統行事とも関連が深い農産物です。豆の普及をさらに進め、伝統を継承する支援ともなるように、主要な生産地である北海道から豆に関する情報を積極的に発信しています。親子で参加できる料理教室やホテルでのトークショーや試食会を開催し、ホームページ「ホクレンの豆」では豆の種類と産地、流通経路などを紹介しています。



### 子供たちを想い、チャリティを毎年継続。

収穫の喜びを多くの人と分かち合いたいとの想いから、1985年より毎年、札幌三越で開催される「ホクレン大収穫祭」オープニングセレモニーにおいて、札幌市の児童福祉施設に北海道産新米4トンを贈呈しています。また、北海道内290カ所の給油所では「ホクレンSS」「ラブ＆ハート」キャンペーン」の募金を行い、北海道内と東北の被災地の児童福祉施設に文具や書籍などを寄贈しているほか、2012年よりキックズISO14000プログラム事業への協力も実施しています。



### てん菜の3R(リデュース・リユース・リサイクル)。

てん菜から砂糖を製造する過程で副産物が発生します。糖分を抽出した後のてん菜の繊維分(ビートパルプ)は早くから家畜の飼料として利用されてきました。また、糖液の不純物を取り除くために使用する石灰(ライムケーキ)は土壌改良材として、排水処理で発生する汚泥は乾燥させて肥料原料として活用するなど、環境保全へ積極的に取り組んでいます。



### news 走る楽しみを広げる女子陸上競技部。

ホクレン女子陸上競技部は、走る楽しみを広げ、健康づくりを応援するイベントを積極的に開催しています。「みんなで走ろう! in モエレ沼公園」では、小学生以上の市民ランナー60名を募集。選手・コーチがウォーミングアップやランニングフォーム、さらにはお弁当へのアドバイスを行います。また、北海道内各地の小学校では「みんなで走ろう!陸上教室」を開催。2012年度は士別市、深川市などの8校を訪問し、体育の授業の一環として、走り方を指導しました。

